

紙面特集

# とき た ふ じ お 常田富士男さんと歩く 加賀・能登むかし話の旅



八百比丘尼像を訪れた常田さんとKCTの増林千晶アナウンサー＝輪島市縄又町

「常田富士男さんと歩く加賀・能登むかし話の旅」の番組収録で、常田さんが先ごろ、輪島市と津幡町の昔話ゆかりの地を訪ね、物語が今も地元で息づいていることを実感しました。

「常田富士男さんと歩く加賀・能登むかし話の旅」の番組収録で、常田さんが先ごろ、輪島市と津幡町の昔話ゆかりの地を訪ね、物語が今も地元で息づいていることを実感しました。その後、ムジナ

## まんが日本昔ばなし 常田さん ナレーション

### 800歳の娘に思いをよこせ

「白比丘尼」の出生の地と伝えられている輪島市縄又町では、「八百比丘尼像」を訪ねました。美しい表情をたたえた像を見た常田さんは「白比丘尼は永遠に生き続ける美しさを持った美人だったんでしょ」と思いをよこしました。800年生き続

が村人に人魚の肉を振る舞った場所といわれる別所谷町も散策しました。

「蓮如太鼓」ゆかりの津幡町笠池ケ原は、12世帯が住む山間の集落。常田さんは、デンデコ太鼓保存会の皆さんが披露してくれた太鼓について「腹に響く迫力」と感嘆し、「蓮如さんの法話が始まるから、みんな家から出て来い」と鳴らしたことにちなみ、「デンデコ太鼓」とも呼ぶようになったとの経緯を聞き、大きくうなずきました。このあと、集落内の高さ25層の大イチョウも訪ねました。

## はし 蓮如の箸が大イチョウに…

れんによたいこ 蓮如太鼓(津幡町)



太鼓を打ち鳴らす村人たち

解説

浄土真宗中興の祖・蓮如上人は1471(文明3)年に北陸に生まれ、吉崎御坊に落ち着かれるまで、河北潟の港町、津幡などを中心に巡ったと伝わります。大イチョウと並んで生えた松の木は、村人が売ろうと、切り出して運んだものの、急に重くなって動かせなくなったと言われています。(加能民俗の会副会長・西山郷史さん)

昔むかし、津幡の笠池ケ原に、蓮如さんが仏の教えを伝えるために来られた。村人たちは、ありがたい話を隣村の人たちにも聞かせようと、招集の合図の太鼓を打ち鳴らしていた。ある日、蓮如さんが箸を地面に突き刺すと、一本は松の木、もう一本は大イチョウに育ち、沖を航海する船の目印になった。太鼓は「蓮如太鼓」とも呼ばれ、今も行事のたびに打ち鳴らされ、大イチョウも健在である。

## 2月の放送スケジュール

北國新聞 ニュース・プラス [地デジ9ch] で放送  
The Hokkoku Shimbun News Plus

テレビのリモコンの「地上」ボタンを押してから「9」ボタンを押してください。

2月1日(土)～2月13日(木)

新作 第21話「白比丘尼と椿」  
土曜、日曜の17:15～、19:00～  
火曜、木曜の19:00～

2月15日(土)～2月27日(木)

新作 第22話「蓮如太鼓」  
土曜、日曜の17:15～、19:00～  
火曜、木曜の19:00～

【お問い合わせ】金沢ケーブルテレビネット 0120-751-114  
(放送日時は都合により変更になる場合があります)

「むかし話の旅」は金沢ケーブルテレビネットのほか、以下の各ケーブルテレビで視聴できます。

加賀ケーブルテレビ、加賀テレビ、津幡町ケーブルテレビ  
宝達志水町ケーブルテレビ、中能登町ケーブルテレビネットワーク  
かほく市ケーブルテレビネットワーク、志賀町ケーブルテレビネットワーク